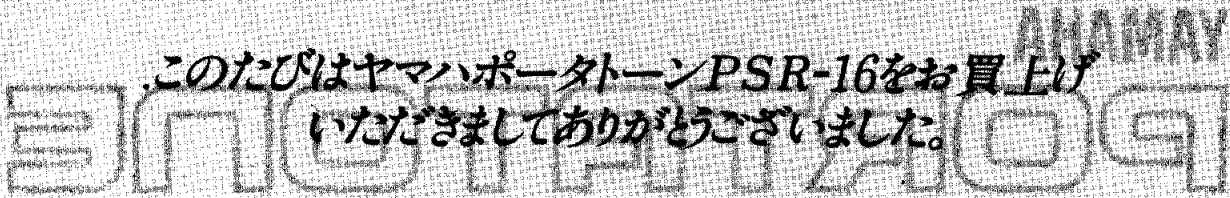


YAMAHA

PORTATONE

ガイドブック
取扱説明書

PSR-16



これだけは読んでおきましょう

ポータートーンを使い始める前に、下の〈取扱上の注意〉と次のページの〈ポータートーン早わかり〉だけは読んでおきましょう。ポータートーンを使いこなすための基本です。

お読みになったあとは

大切に保管して、わからないことが出てきたら、もう一度ご覧ください。

音楽を楽しむためのエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変に気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量に心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

〈取扱上の注意〉

①こんな所には置かないでください。

- 暖房器具のそばや日中の車内など、極端に温度が高い場所。
- 湿気の多い場所。

②こんな所ではお使いにならないでください。

- テレビやラジオをつけている時に、そのすぐ近くではお使いにならないでください。

③無理な力を加えないでください。

- 落としたり、上に座ったりしないでください。
- ボタンやスイッチなどに、無理な力を加えないでください。

④使用後は

- 必ずパワースイッチを切ってください。
- 長い間使わない時は電池を抜いておいてください。
- 電源アダプターを使用している場合も、使わない時はコンセントから抜いてください。

⑤お手入れは

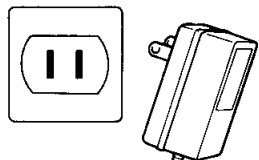
- 柔らかい布でカラ拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いてください。
- アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- 塩ビ系のものを長時間置くと、くっつく場合があるので注意してください。

もくじ

	ページ
ポータートーン早わかり	1
Ⅰ. オーケストラ	4
Ⅱ. リズム	6
Ⅲ. オートベースコード	7
・「ラブ・ミー・テンダー」	8
・「青い影」	9
・コード早見表	10
Ⅳ. コードシーケンサー	11
■ LET'S PLAY	12
・「好きにならずにいられない」	12
・「SHOW ME」	14
■ 故障と誤りやすい現象	16
■ 仕様	17

ポータートーン早わかり

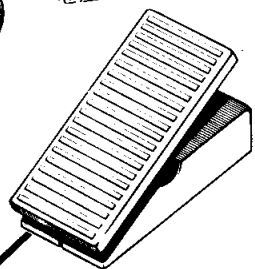
付属品の電源アダプターPA-1Bを(DC IN 9-12V)に接続します。



付属端子の(HEADPHONES)に、ヘッドホンのプラグを差し込んで使えば、真夜中のプレイもOK!

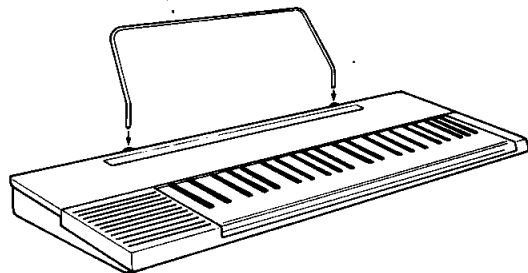
●エクスペッションペダルを使ってみよう!

付属端子のEXP. PEDALにオプションのエクスペッションペダルを差込むと、足で音量を自由に調節できます。



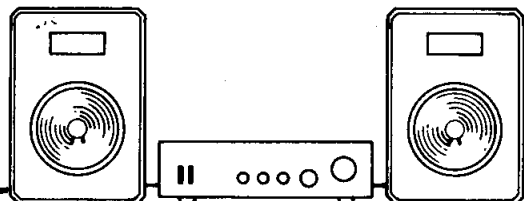
●譜面立ての立て方

付属の譜面立ては、楽器の背中中の部分にある2つの穴にその両端をさしこんでお使いください。

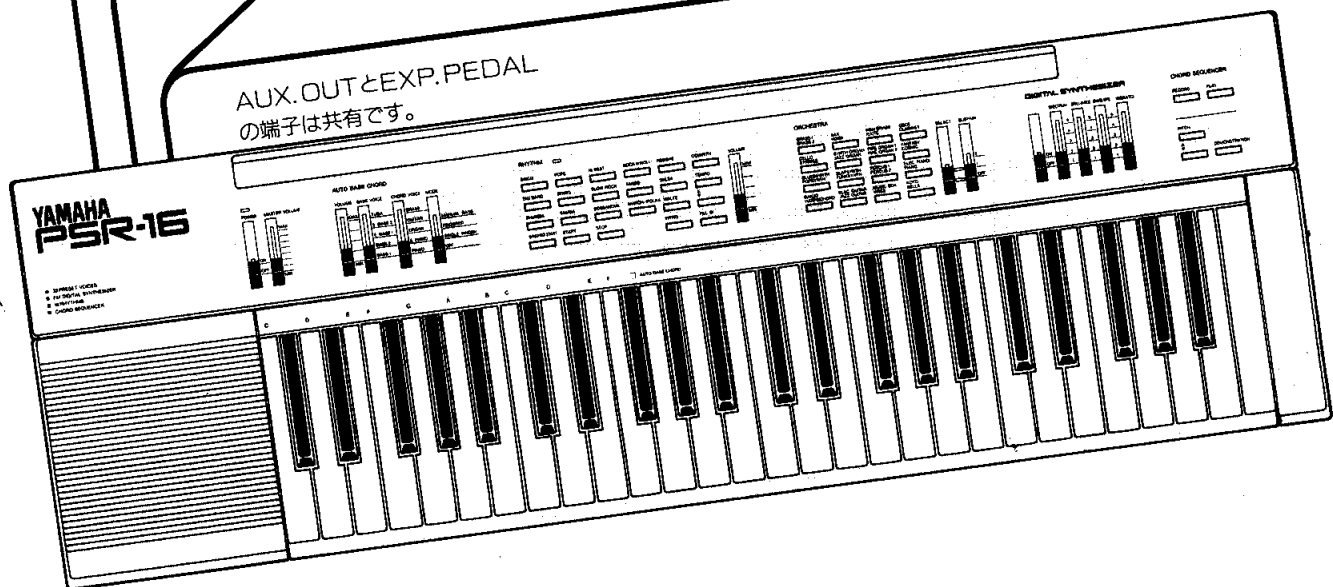


●外部スピーカーで迫力のプレイ!

付属端子の(AUX. OUT)とアンプなどのオーディオ入力端子をオプションの接続コードでつなぐと、大音量で迫力のプレイが楽しめます。



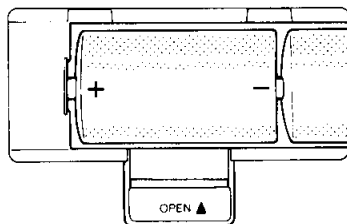
AUX. OUTとEXP. PEDALの端子は共有です。



●電池の入れ方

まず、本体裏面にあるケースカバーをはずし、単一乾電池を+-を間違わないように入れます。

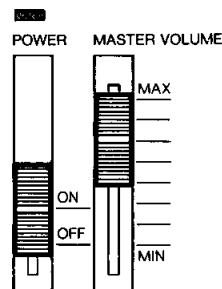
電池が少なくなると、音が歪んだり、誤動作をする場合があります。このような場合は、すべて新しい電池と交換してください。



●音を出す準備

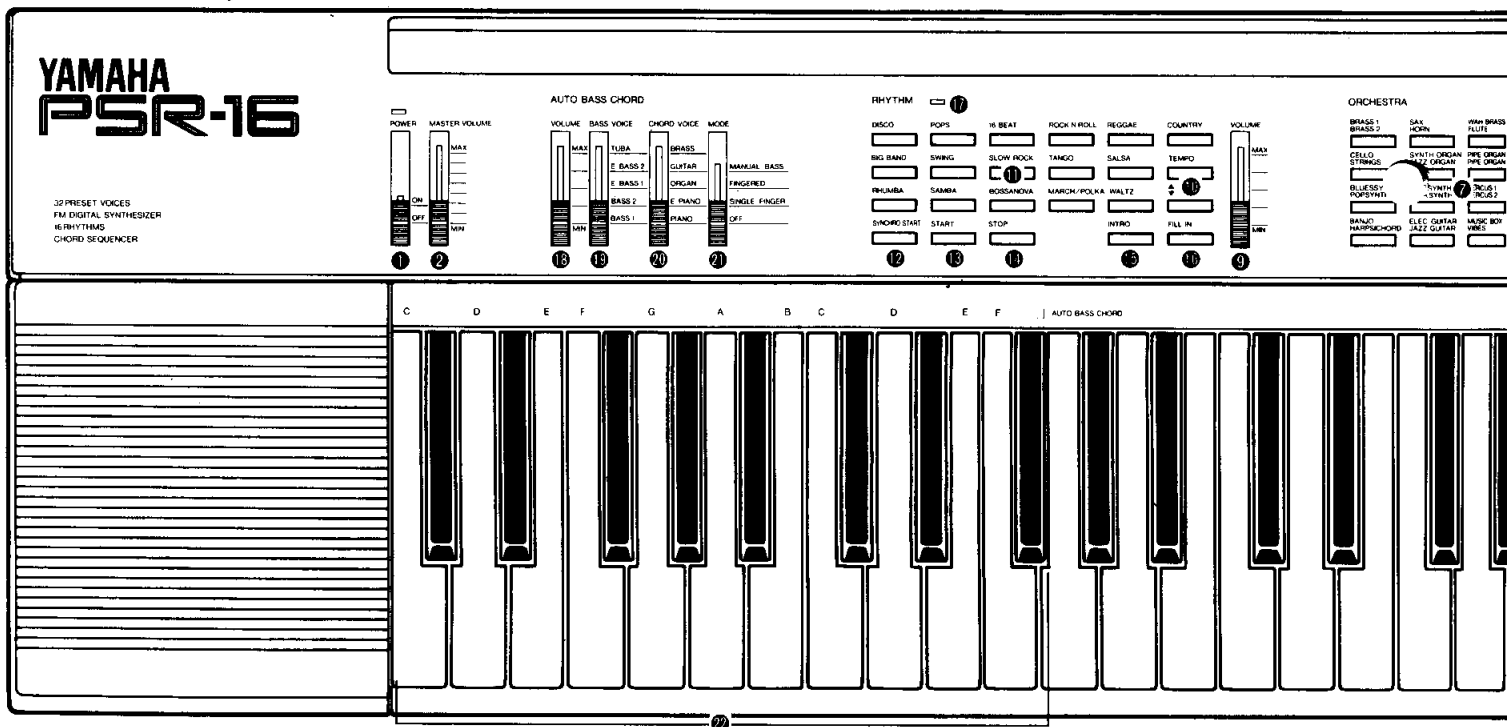
電源の準備が終わったら、音を出す準備をしてください。

1. パワースイッチON。
2. マスターボリュームを鍵盤を弾きながら適度のレベルまで上げます。



各部の名称とはたらき

付属端子はこのあたり。



〈全体のコントロール〉

- ① **パワースイッチ/パイロットランプ**
電源を入れるスイッチ。電気が通じていればパイロットランプが点灯。
- ② **マスターボリューム**
全体の音量を調節するレバー。
- ③ **ピッチコントロール**→3ページ
音程を微調整するためのボタン。
- ④ **デモンストレーション**→3ページ
このボタンを押すとデモンストレーション曲を聴くことができます。

〈オーケストラ〉→4ページ

- ⑤ **サステイン**
オーケストラ音色に自然な余韻をつけるスイッチ。
- ⑥ **音色セレクトスイッチ**
音色セクターの音色の上下を選択するスイッチ。
- ⑦ **音色セクター**
音色の種類を選ぶボタン。

〈デジタルシンセサイザー一部〉→5ページ

- ⑧ **オーケストラ音色を加工する場合に、まずはじめにオンにするスイッチと、おのおのはたらきをする4つのレバー。**

〈リズム〉→6ページ

- ⑨ **リズムボリューム**
リズムの音量を調節するレバー。
- ⑩ **テンポコントロール**
リズムのテンポを調節するレバー。
- ⑪ **リズムセクター**
リズムの種類を選ぶボタン。
- ⑫ **シンクロスタート**
このボタンを押すとリズムスタンバイとなり、オートベースコード用鍵盤を弾けばリズムがスタート。
- ⑬ **スタート**
リズムをスタートさせるボタン。
- ⑭ **ストップ**
リズムをストップさせるボタン。
- ⑮ **イントロ**
イントロパターンでリズムをスタートさせるボタン。
- ⑯ **フィルイン**
リズムが鳴っている時、このボタンを押すとリズムが一時的に変化します。
- ⑰ **テンポランプ**
リズムをスタートさせると1拍目に点灯して、テンポの早さを示します。

●自動伴奏にトライノ→7ページ

- ①のモードセクターでシングルフィンガーをセット。
- ⑬のオートベースコードボリュームをまん中位にセット。
- ⑪のリズムセクターでリズムを選んだら、⑫のシンクロスタートを押します。
- ⑭のオートベースコード用鍵盤をひとつ押してみましょ。
 - * 伴奏を止めたい時は、リズムの⑬のストップを押します。

●リズムを鳴らしましょう。→6ページ

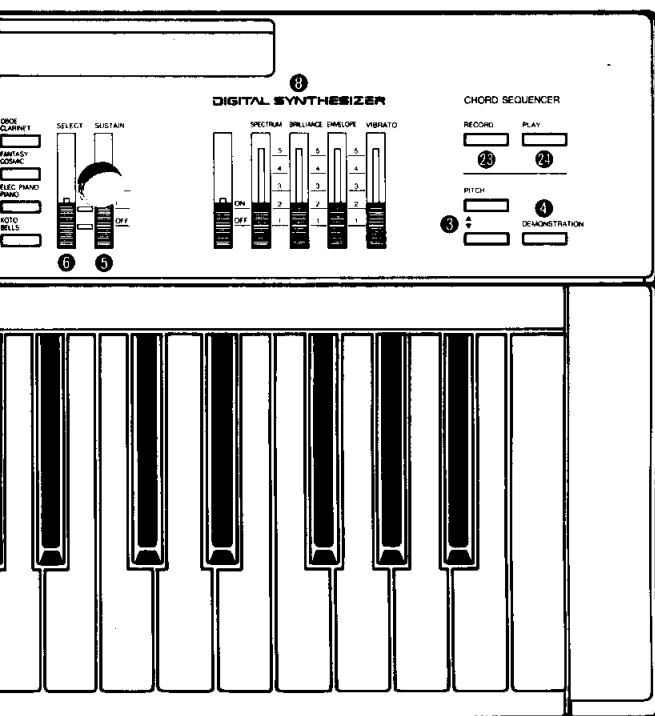
- ①で好きなリズムを選びましょ。
- ⑨のリズムボリュームをまん中位にセット。
- ⑬のスタートを押します。
 - *音が鳴りだしたら、⑩のテンポを調節します。
 - *リズムを止めたい時は、⑭のストップを押します。

●音色をかえてみましょう。→4ページ

- ⑦の音色セクターで好みの音色を選んでください。
 - *⑥の音色セレクトスイッチを下げると音色セクターの下段に表示されている音色を出すことができます。
- 好みに応じて、⑤のサステインまたは⑧のデジタルシンセサイザ一部で、音色を加工してみましょ。

●コード進行を記録・再生させましょ。→11ページ

- オートベースコードのセッティングをおこなってください。
- ⑮のレコードをON。
- ⑭のオートベースコード用鍵盤を押してレコードをスタートします。
- ⑮のレコードを再びONして止めます。
- ⑮のプレイをON。⑬のスタートで再生します。止める時は、⑭のストップを押します。



〈オートベースコード〉→7ページ

- ⑬オートベースコードボリューム
自動伴奏の音量を調節するレバー。
- ⑭ベースボイス
自動伴奏のベース音色を変えるレバー。
- ⑮コードボイス
自動伴奏のコード音色を変えるレバー。
- ①モードセクター
自動伴奏のやり方を選ぶレバー。
- ⑭オートベースコード用鍵盤
自動伴奏をするときに、伴奏用に切り替えられる鍵盤。

〈コードシーケンサー〉→11ページ

- ⑮レコード
コード進行を記憶させる時に押すボタン。
- ⑮プレイ
コード進行を再生させる時に押すボタン。

〈付属端子〉→1ページ

- ⑤AUX. OUT/EXP. PEDAL端子
オーディオ信号を出力するための端子であるとともに、エクスプレッションペダルを接続するための端子。
- ⑥HEADPHONES端子
ヘッドホンの接続端子。
- ⑦DC IN 9-12V端子
電源アダプターPA-1Bを接続する端子。

●ピッチコントロール

チューニングしたい人は、鍵盤を押さながら、③の▲か▼のボタンを押します。

- ▲・・・音程を上げるとき
- ▼・・・音程を下げるとき

2つ同時に押すと、元の音程 (A₃=440Hz) に戻ります。変化幅は、±50セント。一回押すたびに約3.4セント変わります。(15回以上押しても音程は変わりません。) また、押し続けると自動的にかわってきます。

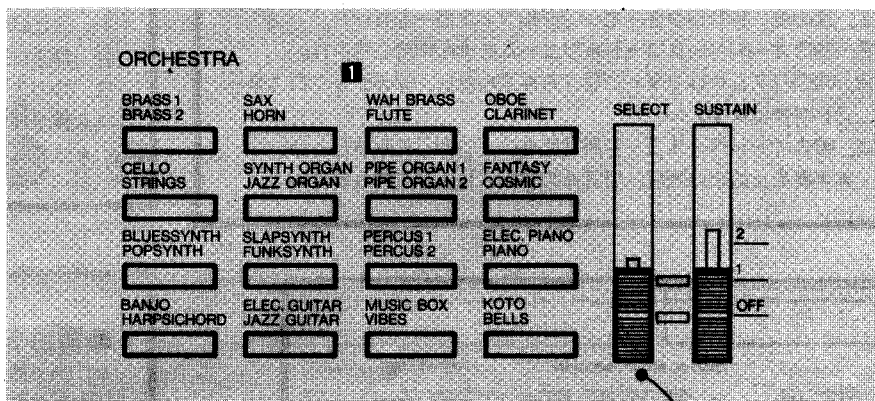
●電源のON時は、ノーマルにセットされます。

●デモンストレーション

このボタンを押すと、自動演奏が鳴りだします。

止める時は、再びこのボタンを押すか、⑬のリズムのストップを押します。

I. オーケストラ



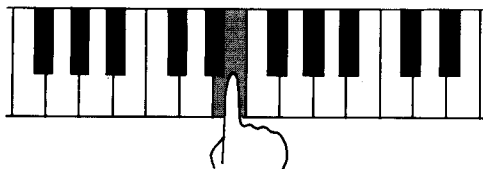
まずは音色選びから

1 好きな音色をひとつ選びます。

- ▶ パワースイッチをONにした時、音色セレクトスイッチが上にある場合は、BRASS 1が選ばれ、下にある場合は、BRASS 2が自動的に選ばれます。
- ▶ いちどに2つ以上のボタンを押すと、すこしでもあとに押した音色が選ばれます。

2 鍵盤を押してみましょう。

- ▶ 選んだ音色がでましたね。



- ☑ いくつかの鍵盤を同時に押さえた時は、最大12音までなります。オートベースコードを使うと最大2音。

- ★ オートベースコード → 4音
 (ベース音 → 1音)
 (コード音 → 3音)
- ★ リズム → 6音
 と覚えましょう。

効果を加えてみましょう。

上の段と下の段の音色選択はここで

ポータートーンは音色セクターの16個のボタンで、32音色が選ばれるようになっています。

緑の音色を選びたいときは、このスイッチを上セットし、シルバーの音色を選びたいときは、下セットしてください。

音に余韻をつけたいとき

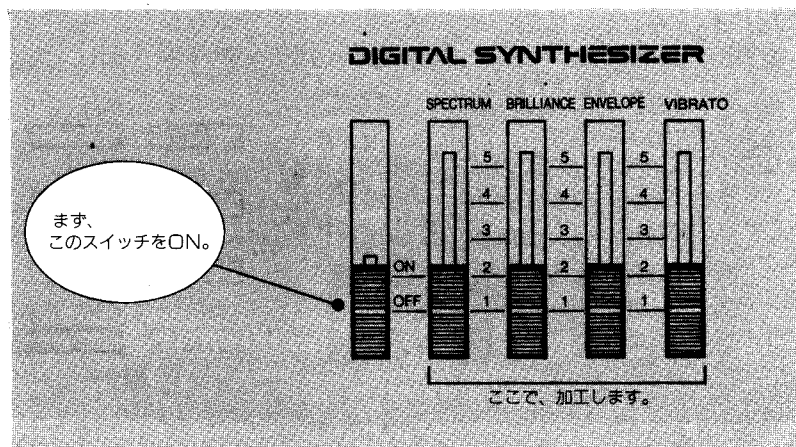
サステイン

サステインをONにすると鍵盤から指を離れた後も音が残る、自然に消えていく効果がえられます。

サステイン1 → リバンプ風の響く感じのサステイン
 サステイン2 → 通常の残響効果がえられます。

- ☑ サステインのかかりかたは、音色によって異なります。

デジタルシンセサイザーで 音色をかえてみよう。



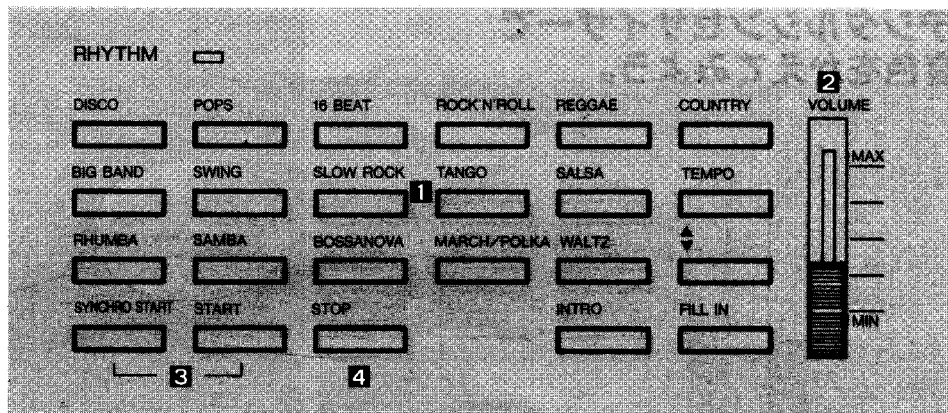
▶まず、デジタルシンセサイザーのONスイッチをいれます。すると、各モードでセットされている値で、選ばれた音色を加工します。

★選ばれた音色と同じ音色にするためには、4つのすべてのモードを3の位置にしてください。ただし、ビブラートは選ばれた音色によって異なります。

☑デジタルシンセサイザーだけを使ってもオーケストラ音色の最大発音数は12音で変わりませんが、リズムを使うと最大6音、さらにオートベースコードを使うと最大2音に制限されます。

各モードのはたらき

スペクトラム SPECTRUM	音色の基本（土台）をつくります。
ブリリアンス BRILLIANCE	音色に輝きを与えたり、落ち着きを与えたりするはたらきをします。
エンベロープ ENVELOPE	音の立ち上がり（アタックタイム）や減衰のしかた（ディケイタイム）を決めるはたらきをします。レベルを上げるほど音の変化が早い感じになります。 ▶アタックタイム……鍵盤を押さえてから音量が最大になるまでの時間 ▶ディケイタイム……鍵盤を押さえている間の音が消えるまでの時間
ビブラート VIBRATO	音をふるわせて、うるおいを与える効果（ビブラート）の深さを決めるものです。レベルをあげるにしたがって回転感が増します。

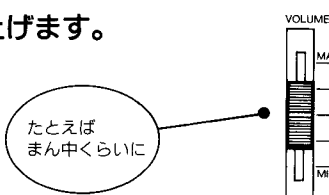


1 リズムを決めましょう。

好きなリズムをひとつ選びます。

- ★ワルツは3拍子、そのほかはすべて4拍子です。
- パワースイッチをONにした時はDISCOが自動的に選ばれます。

2 ボリュームを上げます。



- リズムボリュームが最小 (MIN) になっているとリズムの音はできません。

3 スタートかシンクロスタートのボタンを押します。

- ▶すぐにリズムをスタートしたい時は、スタートのボタンを押します。
- ▶オートベースコードを使っている時は、オートベースコード用鍵盤を押すと伴奏と同時にリズムをスタートできるシンクロスタートのボタンを押します。

- ★この他にイントロスタート、フィルインスタートがあります。→下記参照。

4 リズムを止めたい時は、ストップのボタンを押します。

- その他に下記に示した操作などでもリズムがストップします。

テンポの設定

- ▲のボタンを押すと1ステップごとにテンポが上がります。
- ▼のボタンを押すと1ステップごとにテンポさがります。
- 可変幅は ♩ = 40~280
- ▲と▼のボタンを同時に押すと、テンポは ♩ = 120にセットされます。

テンポランプについて

- ▶1拍目に明るく点灯します。



イントロ

- ▶スタート、シンクロスタートのかわりに、INTROを押すと、1小節のイントロパターンでリズムがスタートします。

右のフィルインスタート待機状態で、イントロのボタンを押すと、フィルインが解除されます。

▶次のような操作でもリズム演奏がストップします。

- シンクロスタートを押した場合。
- シンクロスタートでリズムをスタートして、オートベースコードのモードを切り替えた場合。
- ★上の2つの操作ではシンクロスタート待機状態に戻ります。オートベースコード用鍵盤を押してください。
- コードシーケンサーの記録データが終了した場合。

フィルイン

- ▶メロディーの切れ目など、必要な時にFILL INのボタンを押すと、その小節の終わりまで変則的なリズムに変わります。

〈フィルインで曲をスタート〉

- ▶フィルインで曲をスタートさせることもできます。まず、フィルインをONにしてから、リズムをスタートさせてください。

- ★フィルインを押し続けると、変則的なリズムが長く続きます。
- ★フィルインのパターンは、選んだリズムによって違います。

- フィルインを押したあと、その小節内にもう一度押すと通常のリズムパターンに戻ります。

1 モードを決める。

- ▶モードセレクターのレバーでモードを選んでください。
- 各モードの説明は下で説明しています。

2 オートベースコードのボリュームを上げます。

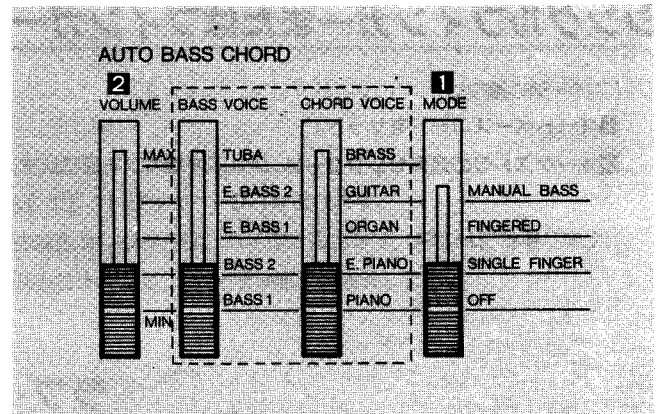
- このボリュームが最小 (MIN) になっていると伴奏の音がでません。

3 モードでシングルフィンガーまたはフィンガードを選んだ場合は、リズムの各セッティングをおこない、シンクロスタートのボタンを押さえます。

★スタートの方法はこの他に、リズムの時のスタート (イントロ、フィルイン、普通のスタート) がすべて可能ですので、お試しください。

オートベースコード用鍵盤を押さえて演奏をスタートしましょう。

- ▶コードパターンとベースパターンがリズムによってできます。



NOTE :

- ▶オートベースコード使用時のメロディー部の最高同時発音数は2音になります。
- ▶シングルフィンガー、フィンガードの演奏中は、手を離しても同じ伴奏が繰り返されるメモリー機能がはたらきます。コードが変わるときのみ鍵盤を押さえるようにしてください。
- ▶オートベースコードの音色は、ベースボイスとコードボイスで選ばれた音色になります。
- ▶伴奏を止める時は、リズムのストップ同様、ストップのボタンで止めてください。
- ▶シングルフィンガーコードは4タイプ、フィンガードコードは7タイプ検出可能です。検出できないコードは最低音をベースとして演奏されます。(→10ページ)

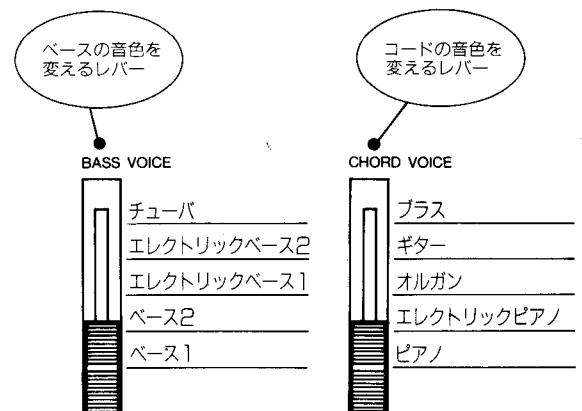
〈各モードの説明〉

- ▶**シングルフィンガー**
簡易型の和音 (コード) の押え方で自動伴奏できるモード。(→8、9、10ページ)
- ▶**フィンガード**
通常の和音 (コード) の押え方で自動伴奏できるモード。(→10ページ)
- ▶**マニュアルベース**
オートベースコード用鍵盤部からベースボイスで選ばれたベース音をだすモード。(→9ページ)

伴奏の音色を変えたいときは……

ベースボイス / コードボイス

- ▶ベースボイスまたはコードボイスを動かすと伴奏に出てくる音色が変わります。



シングルフィンガーまたはフィンガードで「ラブ・ミー・テンダー」を弾いてみましょう。

(7ページの通りに)

1 オートベースコードをセット。

2 オーケストラの音声セレクトは、ジャズオルガンを選びます。

3 リズムはポップスを選びます。

★テンポは、ややスローに。

4 シンクロスタートを押します。

ラブ・ミー・テンダー

作詞・作曲/E.Presley & V.Matson

POPS

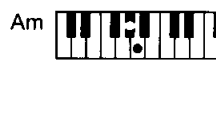
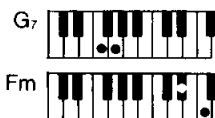
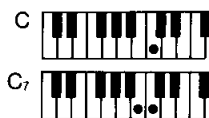
JAZZ ORGAN

日本音楽著作権協会(出)許諾第8761872-701号

©1956 by ELVIS PRESLEY Music, inc.

Rights for Japan assigned to CHAPPEL/INTERSONG K.K.

★シングルフィンガーコードのおさえ方



シングルフィンガーコードのだし方

シングルフィンガーコードについて

次の図は、オートベースコード用鍵盤をおす位置と、でてくる和音の関係を示したものです。

鍵盤で押す位置

→コードネーム

でてくる和音 (メジャーコード)

#、bのついているコードのだし方

#がついていたら、左の図で説明した位置の右の上の黒鍵、bがついていたら左上の黒鍵をおせば、#・bのついたコードがだせます。



自分でベース音を弾きたくなる曲もあります。

マニュアルベース

オートベースコードのモードをマニュアルベースにセットすると、オートベースコード用鍵盤の部分が、ベース音になります。

〈「青い影」のイントロを弾いてみましょう。〉

- ❶モードをマニュアルベースにセット。
- ❷ベースボイスは、エレクトリックベース1を選びます。
- ❸オーケストラの音色セクターは、パイプオルガン1、または2を選びます。
- ❹ポップスのリズムにあわせて、スローテンポで弾きましょう。

青い影

作曲: K.Reid & G.Brooker

日本音楽著作権協会出許第8761872-701号 ©1967 by WESTMINSTER MUSIC LTD., London, England Rights for Japan controlled by TRO Essex Japan Ltd., Tokyo Authorized for sale in Japan only

セブンスコード、マイナーコードのだし方

アルファベット1文字のコード (C、Dなど) をメジャーコードといいますが、伴奏はメジャーコードだけとは限りません。例えば (G7) のようなセブンスコード、(Am) のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、右図のように、2つの鍵盤を同時に押すことができます。

C₇(セブンスコード) C(メジャーコード) Cm(マイナーコード)

メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵を同時に押す。(どれでもよい)

Cm₇(マイナーセブンスコード) メジャーコードで押した鍵盤より左側の黒鍵を同時に押す。(どれでもよい)

メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵と黒鍵を同時に(3音)押す。(どれでもよい)

お詫びと訂正

取扱説明書 本文中に誤りがありました。

お詫びして訂正致します。

コード早見表

フィンガードコード表

セブンスコード F₇

誤



正



コード早見表

■シングルフィンガーコード表

メジャーコード	マイナーコード
C	Cm
D [♯] (C [♯])	D [♯] m (C [♯] m)
D	Dm
E [♯] (D [♯])	E [♯] m (D [♯] m)
E	Em
F	Fm
F [♯] (G [♯])	F [♯] m (G [♯] m)
G	Gm
A [♯] (G [♯])	A [♯] m (G [♯] m)
A	Am
B [♯] (A [♯])	B [♯] m (A [♯] m)
B	Bm

■フィンガードコード表

※は回転型、他は基本型です。

メジャーコード	マイナーコード	セブンスコード
C	Cm	C ₇
D [♯] (C [♯])	D [♯] m (C [♯] m)	D [♯] ₇ (C [♯] ₇)
D	Dm	D ₇
E [♯] (D [♯])	E [♯] m (D [♯] m)	E [♯] ₇ (D [♯] ₇)
E	Em	E ₇
F	Fm	F ₇
F [♯] (G [♯])	F [♯] m (G [♯] m)	F [♯] ₇ (G [♯] ₇)
G	Gm	G ₇
A [♯] (G [♯])	A [♯] m (G [♯] m)	A [♯] ₇ (G [♯] ₇)
A	Am	A ₇ ※
B [♯] (A [♯])	B [♯] m (A [♯] m)	B [♯] ₇ (A [♯] ₇) ※
B	Bm	B ₇ ※

セブンスコード	マイナーセブンスコード
C ₇	Cm ₇
D [♯] ₇ (C [♯] ₇)	D [♯] m ₇ (C [♯] m ₇)
D ₇	Dm ₇
E [♯] ₇ (D [♯] ₇)	E [♯] m ₇ (D [♯] m ₇)
E ₇	Em ₇
F ₇	Fm ₇
F [♯] ₇ (G [♯] ₇)	F [♯] m ₇ (G [♯] m ₇)
G ₇	Gm ₇
A [♯] ₇ (G [♯] ₇)	A [♯] m ₇ (G [♯] m ₇)
A ₇	Am ₇
B [♯] ₇ (A [♯] ₇)	B [♯] m ₇ (A [♯] m ₇)
B ₇	Bm ₇

マイナーセブンスコード	メジャーセブンスコード	マイナーセブンスフラットセブンスコード	セブンスサス・フォーコード
Cm ₇	Cmaj ₇	Cm ₇ ⁻⁵	C ₇ sus ⁴
D [♯] m ₇ (C [♯] m ₇)	D [♯] maj ₇ (C [♯] maj ₇)	D [♯] m ₇ ⁻⁵ (C [♯] m ₇ ⁻⁵)	D [♯] ₇ sus ⁴ (C [♯] ₇ sus ⁴)
Dm ₇	Dmaj ₇	Dm ₇ ⁻⁵	D ₇ sus ⁴
E [♯] m ₇ (D [♯] m ₇)	E [♯] maj ₇ (D [♯] maj ₇)	E [♯] m ₇ ⁻⁵ (D [♯] m ₇ ⁻⁵)	E [♯] ₇ sus ⁴ (D [♯] ₇ sus ⁴)
Em ₇	E ₇ maj ₇	Em ₇ ⁻⁵	E ₇ sus ⁴
Fm ₇	F ₇ maj ₇	Fm ₇ ⁻⁵	F ₇ sus ⁴
F [♯] m ₇ (G [♯] m ₇)	F [♯] maj ₇ (G [♯] maj ₇)	F [♯] m ₇ ⁻⁵ (G [♯] m ₇ ⁻⁵)	F [♯] ₇ sus ⁴ (G [♯] ₇ sus ⁴)
Gm ₇	G ₇ maj ₇	Gm ₇ ⁻⁵	G ₇ sus ⁴
A [♯] m ₇ (G [♯] m ₇)	A [♯] maj ₇ (G [♯] maj ₇) ※	A [♯] m ₇ ⁻⁵ (G [♯] m ₇ ⁻⁵)	A [♯] ₇ sus ⁴ (G [♯] ₇ sus ⁴)
Am ₇ ※	A ₇ maj ₇ ※	Am ₇ ⁻⁵ ※	A ₇ sus ⁴ ※
B [♯] m ₇ (A [♯] m ₇) ※	B [♯] maj ₇ (A [♯] maj ₇) ※	B [♯] m ₇ ⁻⁵ (A [♯] m ₇ ⁻⁵) ※	B [♯] ₇ sus ⁴ (A [♯] ₇ sus ⁴) ※
Bm ₇ ※	B ₇ maj ₇ ※	Bm ₇ ⁻⁵ ※	B ₇ sus ⁴ ※

①オートベースコードのセッティングの要領で、リズムやモードなどをセットしてください。

モードをフィンガードにするとフィンガードコードでコード進行を記録できます。その他のモード（マニュアルベース、オフ）の場合は、シングルフィンガーコードで記録します。

②コードシーケンサーが記録するのは、コード進行の演奏データとイントロのみです。

②レコードのボタンを押します。

レコードのボタンを押すと、メトロノーム音（ハイハットクローズ音）が1拍ごとに発音されます。さらにテンポランプが1拍ごとに点滅してレコードスタンバイ状態になり、オートベースコード用鍵盤が押されるのを待つ状態になります。

③オートベースコード用鍵盤でコードを押さえます。

レコードがスタートします。鍵盤でコードを押さえてコード進行を記録してください。

★次の方法でもレコードがスタートします。

- ・リズムのスタートボタンをON。
- ・イントロのボタンをON。

ただし、コード進行はオートベースコード用鍵盤を押さない限り、記録できません。

④レコードのボタンを押して記録をストップします。

★この他に、次の操作でも記録を止めることができます。

- ・リズムのストップボタンをON。
- ・プレイのボタンをON。

★レコード中にシンクロスタートのボタンを押しますと、レコードをはじめからやり直すことができます。

⑤メモリーがフルになると自動的にレコードが止まります。最大コードメモリー数は32コードです。

⑤プレイのボタンを押します。

プレイのボタンを押すと、テンポランプが1拍ごとに点滅して、再生待ちの状態になります。

⑥鍵盤をひとつ押して再生をスタートしましょう。

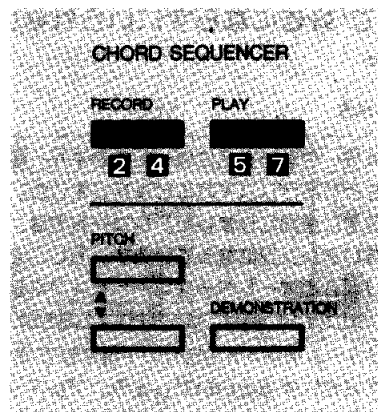
押す鍵盤は、オートベースコード用鍵盤に限らず、どの鍵盤でもOKです。

- ★再生されるコード進行にあわせてメロディーを弾いてみましょう。
- ★この他にもリズムのスタートボタンまたはイントロを押して再生をスタートすることもできます。

⑦プレイを押して再生をストップさせます。

★この他にリズムのストップまたはレコードのボタンを押しても再生を止めることができます。

⑧レコードデータがなくなっても自動的に再生がとまります。しかし再生のモードは解除されなく、再生待ち状態となるため、⑥の操作で再生を再びスタートさせることができます。



NOTE :

- ▶再生中にシンクロスタートのボタンを押しますと、再生をはじめからやり直すことができます。⑥の操作で再生をスタートしてください。
- ▶再生中にリズムパターンやベースやコードの音色を変えてイメージに近いコード進行をつくってみましょう。

LET'S PLAY

オートベースコードで「好きにならずにいられない」を弾いてみましょう。

Playing Note

もともとはエルビス・プレスリーの歌で有名になった曲ですが、最近、コリー・ハートが、この曲をとりあげリバイバルヒットしました。ここでは、コリーのレコードを参考に譜面にしました。レコードでは、バックにドラムやベースを使わないアレンジになっています。もし、その雰囲気演奏したい場合は、リズムとオートベースコードをオフにしてください。また、曲にメリハリをつけたい時は、**[A]**ではリズムをMINにしてオートベースコードのボリュームをMAXの5分の1位にして、**[B]**から両方ともボリュームの5分の4位にするといいでしょう。プレスリー風に演奏したい場合は、スローロックのリズムでお試ください。

●最初のパネルセッティング

リズム	ポップス
リズムセクター	♩=76 (♩=120より▼を10回オン)
テンポ	MAXの5分の4
ボリューム	
オートベースコード	シングルフィンガーまたはフィンガード
モード	MAXの5分の4
ボリューム	ベース1
ベースボイス	ギター
コードボイス	
オーケストラ	
音色セクター	エレクトリックピアノ
サステイン	サステイン2
デジタルシンセサイザー	ON
	スペクトラム4
	プリリアンス5
	エンベロープ2
	ピブラート3

好きにならずにいられない

G.Weiss・H.Peretti・L.Creatore作詞・作曲

[A] C C Em Am

↑ シンクロスタート

F C G7 F G7 Am F

C G7 C **[B]** C Em Am

F C G7 F G7 Am F

be a sin For I can't help Fal-lin' in

C G7 C C Em A Em A

love with you Like a ri-ver flows sur-ely to the sea

Em A Dm G7 D C Em

Dar-lin' so it goes Something were meant to be Wise men

Am F C G7 F G7

say that on-ly fools rush in But I can't

Am F C G7 C

help Fal-lin' in love with you

LET'S PLAY

オートベースコードで「SHOW ME」を弾いてみましょう。

Playing Note

明石家さんま主演のTVドラマ「男女7人秋物語」のテーマソングで、新人の森川由加里の歌でヒットしました。
楽譜は、弾きやすくするために16分音符などの細かい音符を省略してかかれています。イントロは、少し難しいかもしれませんが、この曲のポイントですのでレコードなどをよく聴いてその雰囲気を出してください。
オーケストラ音色は、レコードのイントロのイメージで、ワウプラスの音をデジタルシンセサイザーで少しエディットして演奏しますが、メロディーに入ったところで、ギター音色やファンタジーなどシンセっぽい音色で演奏するのも楽しいでしょう。

●最初のパネルセッティング

リズム	サンバ
リズムセクター	J=116 (J=120より▼を1回オン)
テンポ	MAXの5分の3
ボリューム	
オートベースコード	
モード	フィンガード
ボリューム	MAXの5分の4
ベースボイス	ベース1
コードボイス	ピアノ
オーケストラ	
音色セクター	ワウラス
サステイン	オフ (オンにしてもOK)
デジタルシンセサイザー	ON
	スペクトラム3
	プリリアンス4
	エンベロープ4
	ピブラート3

SHOW ME

A. Tripodi/T. Moran/A. Cabrera/B. Khozouri 作詞・作曲 森 浩美 日本語詩

1. シンクロススタート

You あなたら -しくもないわ しくじ たくらい -で and

You ゆう -うつな -ためいき -は にあわないはず よ - わ

B Am G Am

た　　し　の　　て　　を　ひ　き　よ　せ　　テ-ブ　ル　の　う　え　で　　か　さ　ね　る

Am G Am

む　り　し　-　て　　ほ　　ほ　え　　む　か　ら　　お　も　わ　ず　だ　き　し　め　　た　く　な　る　わ　　つ

Em F

よ　が　-　る　す　　が　た　が　す　き　よ　　だ　け　-　ど　こ　　ん　や　は　す　が　お　で　　な　や　み　-　を

F E7sus4 E7 Am G

き　か　-　せ　　て　　-　　SHOW ME SHO-W ME　　む　ね　の　お　く　の
SHOW ME SHO-W ME　　わ　か　り　あ　え　る

G Am G

す　べ　て　-　を　　ひ　ら　い　　-　て　　SHOW ME SHO-W ME　　ず　っ　と　わ　た　し
ふ　た　つ　-　の　　こ　こ　ろ　　-　で　　SHOW ME SHO-W ME　　こ　と　ば　よ　り　も

1. G Am 2. G Am

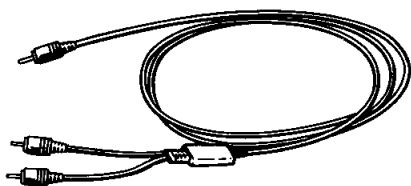
あ　な　た　-　を　　み　つ　め　て　　い　る　か　ら　　あ　な　た　-　を　　し　り　た　　-　い

故障と誤りやすい現象

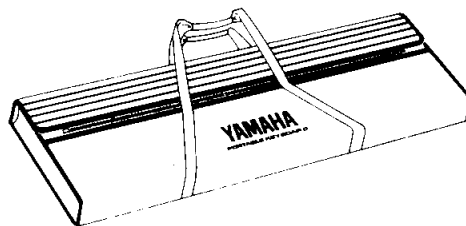
現象	原因	処置
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パイロットランプが暗くなったり、誤動作が起きたりする。	電池がなくなりかけているため。	すべて新しい電池と交換してください。
オートベースコード用鍵盤の部分だけオーケストラで選んだ音色が出ない。	オートベースコードのモードのレバーが、OFF以外の位置にあるため。	モードのレバーをOFFにしてください。
リズムの音が出ない。	①リズムボリュームが最小(MIN)になっているため。 ②スタート、またはシンクロスタートのボタンを押していないため。 ③シンクロスタートのボタンを押して、オートベースコード用鍵盤を押していないため。	6ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
オートベースコードの音が出ない。	①オートベースコード用鍵盤を押さえていないため。 ②オートベースコードボリュームが最小(MIN)になっているため。	①7ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。 ②オートベースコードのボリュームを上げてください。
オートベースコードで伴奏しているとき、指を押さえても思ったとおりのコードが出ない。	①オートベースコード用鍵盤から、いったん指を離さずに弾いているため。 ②シングルフィンガーのモードでフィンガードコードの押さえ方をしている、あるいはその反対のため。	①コードを変えるときは、いちど鍵盤から指を離すようにしてください。 ②シングルフィンガーとフィンガードでは、押さえ方が違います。
コードシーケンサーの再生が記録した時と違う。	コードシーケンサーが記録するのは、コード進行とイントロのみで、他は記録しません。	記録時と同じセッティングまたはスタート方法で再生してください。

●オプション (別売付属品)

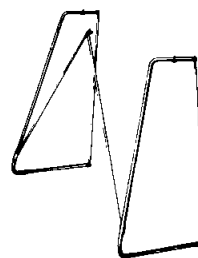
- 分岐接続コード(PC-2)
¥1,000



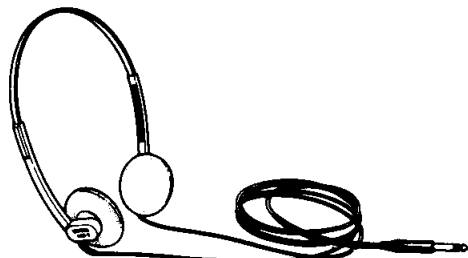
- 専用ソフトケース(SCC-17)
¥4,500



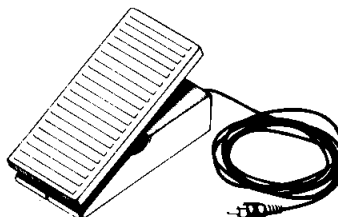
- スタンド(L-2)
¥6,000



- ステレオヘッドホン(HPE-3)
¥3,000



- エクスペッションペダル(EP-1)
¥2,400



■鍵盤

一段鍵盤49鍵 (C₁~C₅)

■オーケストラ

〈音色セクター〉

プラス1/プラス2
サクソ/ホルン
ワウラス/フルート
オーボエ/クラリネット
チェロ/ストリングス
シンセオルガン/ジャズオルガン
パイプオルガン1/パイプオルガン2
ファンタジー/コズミック
ブルースシンセ/ポップシンセ
スラップシンセ/ファンクシンセ
パーカス1/パーカス2
エレクトリックピアノ/ピアノ
バンジョー/ハーブシコード
エレクトリックギター/ジャズギター
ミュージックボックス/バイブス
コト/ベルズ

音色セレクトスイッチ

サステイン

〈デジタルシンセサイザー部〉

デジタルシンセサイザーオンスイッチ
スペクトラム
ブリリアンス
エンベロープ
ビブラート

■リズム

〈リズムセクター〉

ディスコ
ポップス
16ビート
ロックンロール
レゲエ
カントリー
ビッグバンド
スウィング
スローロック
タンゴ
サルサ
ルンバ
サンバ
ボサノバ
マーチ/ポルカ
ワルツ

リズムボリューム

テンポ ▲/▼

テンポランプ

フィルイン

シンクロスタート

スタート

ストップ

イントロ

■オートベースコード

オートベースコードボリューム
ベースボイス
コードボイス
モードセクター

■コードシーケンサー

レコード
プレイ

■その他のコントロール

パワースイッチ
パイロットランプ
マスターボリューム
ピッチ ▲/▼
デモンストレーション

■メインアンプ

2.5W×1

■スピーカー

12.0cm (4Ω) ×1

■定格電源

DC9V: 単1乾電池6個
電源アダプター (PA-1B)

■消費電力

電源アダプター使用時/5.0W
乾電池使用時/2.2W
(電池寿命: 通常演奏で連続15時間以上)

■付属端子

HEADPHONES JACK
AUX. OUT / EXP. PEDAL JACK
DC IN 9-12V JACK

■寸法・外装

本体材質: スチロール樹脂
間口: 861mm
奥行: 289mm
高さ: 97mm
重量: 3.8kg

■付属品

電源アダプター (PA-1B)
譜面立て

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

●本機の保証は、保証書によりご購入日から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

●保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか?”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項を一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみません。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL.025-243-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL.06-877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸龜町8-7 ヤマハ㈱高松店内 TEL.0878-51-7777、22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ㈱名古屋流通センター TEL.052-652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL.011-781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.082-874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534-65-6711
(本社) 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534-65-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

本 社

シングルキーボード事業部 / 〒403 浜松市中沢町10-1

TEL.0534(60)3275

東京営業所 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル

TEL.03(572)3130

東京特販営業所 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル

TEL.03(572)3130

大阪営業所 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館

TEL.06(252)7491

名古屋営業所 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28

TEL.052(201)5150

九州営業所 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL.092(472)2152

北海道営業所 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4 ヤマハセンター

TEL.011(512)6113

仙台営業所 / 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル

TEL.022(222)6141

広島営業所 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18

TEL.082(244)3749

YAMAHA

YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社

YAMAHA feelin' club



T4960693005880